

「水戸学の道」 フオトスポットと うまいもん



見晴台

水戸第二中学校脇にある門をくぐり、細道を歩いていくと、見晴台がある。木々の間から那珂川を挟み、市内を眺望することができる。



白壁堀

二の丸付近では水戸城跡の整備が進み、美しい白壁堀による歴史的景観を楽しむことができる。夜は幻想的にライトアップされる。



水戸東武館

水戸藩の武芸を一貫する特徴である「文武不岐」を掲げ、北辰一刀流や新田宮流抜刀術などの武芸を伝えている。明治7年設立。



水戸黄門助さん格さん像

水戸市の写真スポットとして有名な、助さん、格さんを従えた水戸黄門像。水戸駅北口にあり、多くの観光客がこの像の前で記念写真を撮る。



宮下銀座商店街

水戸東照宮の下にあり、多彩な飲食店などが軒を連ねるレトロでディープな商店街。最近では、その雰囲気から、フォトスポットとしても人気を博している。



納豆

水戸地方は大豆の生産が多く、農家では納豆を自家製造し食していた。観光土産品用の駅売りから全国に知られ、水戸の代名詞になっている。



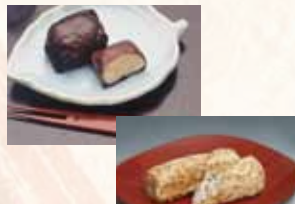
うなぎ

水戸市の北を流れる那珂川は川魚の宝庫であるため、水戸市内にはうなぎの名店が多い。



地酒

茨城県には、大自然の恵みと豊かな5つの水系があり、その恵まれた環境から、関東地方では最も多い約40もの酒蔵がある。水戸市でも、おおらかな自然が育んだ数々の銘酒が味わえる。



水戸銘菓

水戸藩第9代藩主斉昭公のころ、御殿女中吉原が農人形に供えた御飯を乾飯にし、これを煎り、飴、黄な粉でまぶして作ったのが始まりといわれる「吉原殿中」と、餡を求肥でくるみ、たっぷりと梅酢に漬けた紫蘇の葉で包んだ「水戸の梅」は、水戸を代表する銘菓。



水戸学は、水戸藩主徳川光圀公（水戸黄門）の「大日本史」編纂が始まりとされる。江戸時代後期には、斉昭公らが天皇のもと国全体で諸外国に立ち向かう「尊王攘夷」論を示した。藩を超えて国家的視野から様々な課題に対応する理念が、明治維新や近代日本の形成に大きな役割を果たした。



「水戸学の道」 散策マップ



A 義公生誕の地

徳川光圀公が生まれ、4歳になるまで過ごした地。水戸黄門神社が建てられている。



薬医門

水戸城で現存する建造物の1つ。正面の軒が深く風格のある門構えとなっているのが特徴。建築年代は、その様式から安土桃山時代末期と推測される。



G 水戸城二の丸角櫓

水戸城二の丸の南西角にあった二階建ての櫓で、明治中ごろまでに撤去されたが、2021年に復元される。水戸城の歴史に関する資料等を展示。
開館時間 9時～16時30分
※情報は2020年10月時点のもの。



H 水戸城跡二の丸展示館

日本遺産に認定された「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」をテーマに、水戸彰考館をはじめとして、水戸の教育遺産の貴重な出土品や資料を展示。
開館時間 9時～16時30分



I 水戸城大手門

明治初期に取り壊されるまで、水戸城を代表する門としての役割を果たしていた。景観整備の一環として復元され、水戸城跡の風情を感じることができる。



K 弘道館

「水戸が天下の魁となり、日本の国家を護り将来へ発展できる優秀な人材を育成する」とし、徳川斉昭公が創建した水戸藩の藩校。Nの八卦堂には弘道館の建学の精神を示す「弘道館記碑」が収められている。
入館料：大人400円/子供200円
開館時間 2/20～9/30 9時～17時
10/1～2/19 9時～16時30分
休館日 12/29～31



M 弘道館鹿島神社

祭神は、天照大神の国土平定の祖業に貢献した武甕槌命(タケミカヅチノミコト)で、常陸一の宮である鹿島神社から分霊を勧請して祀ったもの。



R 水戸東照宮

水戸藩初代藩主徳川頼房公が家康公を祀る神社として創建。頼房公が奉納した銅灯籠や斉昭公が考案した戦車「安神車」などが現存する。

水戸学の道おすすめルート

----- 水戸学の道

光圀(義公)ルート (約2km・約1時間)

水戸藩第2代藩主。徳川家康公の孫にあたり、儒学を奨励し、水戸学の基礎を築いた。

水戸黄門助さん格さん像 → A 義公生誕の地 → B 柵町坂下門 → C 薬医門 → D 杉山門 → E 見晴台 → F 水戸城跡の大シイ → H 水戸城跡二の丸展示館 → I 水戸城大手門 → J 大手橋 → K 弘道館 → Q 冠木門 → 水戸黄門助さん格さん像

斉昭(烈公)ルート (約2.5km・約1時間30分)

水戸藩第9代藩主。15代将軍慶喜公の父であり、日本遺産の弘道館や偕楽園を創建するなど、水戸の歴史に大きな足跡を残した。

水戸黄門助さん格さん像 → Q 冠木門 → K 弘道館 → L 孔子廟 → M 弘道館鹿島神社 → N 八卦堂 → P 土塁・堀 → R 水戸東照宮 → 水戸黄門助さん格さん像

慶喜(将軍)ルート (約3.3km・約2時間)

徳川第15代将軍。水戸で育ち5歳の時から弘道館で学問を修めた。30歳の時に将軍となり、大政奉還を行った。

水戸黄門助さん格さん像 → A 義公生誕の地 → B 柵町坂下門 → C 薬医門 → D 杉山門 → E 見晴台 → F 水戸城跡の大シイ → H 水戸城跡二の丸展示館 → I 水戸城大手門 → J 大手橋 → K 弘道館 → Q 冠木門 → R 水戸東照宮 → P 土塁・堀 → Q 冠木門 → R 水戸東照宮 → 水戸黄門助さん格さん像

